

# ここが聞きたい！ 一問一答

代表質問  
5会派  
個人質問  
7人



3月定例会  
で行われた  
一般質問の様子を  
お伝えします

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、市民の皆さまの声や自身の考え方をもとに、市長や教育長などに方針や課題、成果を問うものです。

## 質問ルール

代表質問  
質問時間

20分+  
会派人数  
×5分

個人質問  
質問時間

1人  
30分以内

質問回数

回数制限  
無し

次回は  
6月  
定例会

## おねがい

ここでは、紙面の都合上要約して掲載しています。詳細はHPでも公開していますが、ぜひ傍聴にいらしてください。

## 次回質問日

6月15日(水) 代表  
16日(木) 個人  
17日(金) 個人  
20日(月) 個人

9:30 から!

議長 1期目の市長任期が間もなく終わろうとしている今、次の任期に向けて市長の信念を改めて伺う。

市長 平成28年度当初予算案は、総合戦略に掲げた施策について早急かつ強力に実行するため、新規事業についても積極的に予算計上している。平成28年度は、現在笠岡市が進める第6次総合計画の全体計画期間8年の7年目となり、確実に成果を出すとともに、その成果を次の第7次の計画につなげ、さらに高めていくための準備期間として大変重要な時期に差しかかる。魅力ある笠岡の創生は、1期目の4年間で土台をつくり、次の大きなステップを迎えたところで、若者、女性、子ども、高齢者が輝くまち笠岡を市民とともにつくり

市長 耕作放棄地対策の一つとして、多面的機能支払制度と中山間地域直接支払制度を市内6地区で活用し、集落で農地や景観等を保全する取り組みをしていただくなど、集落で農地を守っていくことと、農地中間管理機構を活用した農地のマッチングによる担い手への農地集積で、耕作放棄地の解消へと結び付けたい。

議員 笠岡市においても、農業従事者の高齢化は間違いなく進んでおり、何年かすると農業後継者の不足などにより耕作放棄地が急速に増えることが予想される。農業振興のための取り組みをたずねる。

## 笠岡の未来を切り開く時期 市長の信念を改めて問う



## 互真会

質問者

さかもと きみあき 議員  
坂本公明

所属議員

はらだ てつよ 議員  
原田てつよ

みたに わたる 議員  
三谷渡



## 食の源・要の農業 笠岡市の取るべき農業施策とは

上げ、その成果を市民の皆様お一人お一人にお届けすることが私の使命であると強く感じている。